

ガス給湯器

保証書付

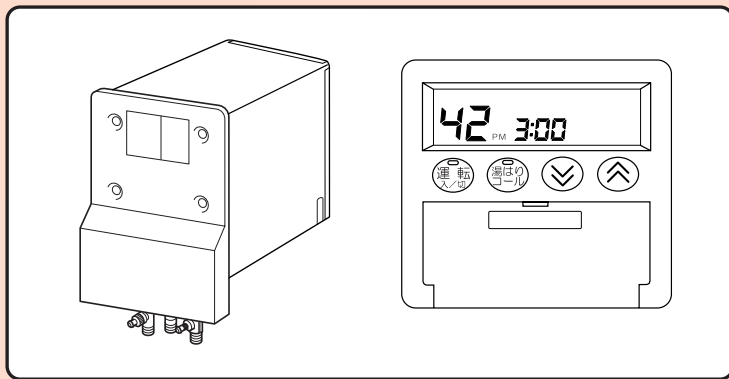
浴室外設置

パックイン 外壁貫通設置形

133-K419型

型式名 WFK-1602

取扱説明書

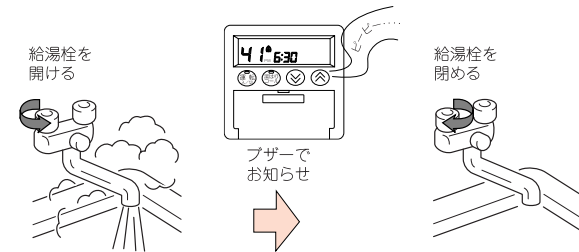


ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 この説明書の裏表紙と29ページが保証書になっています。保証書に記載されている
 保証期間、保証内容などをよくご確認のうえ、大切に保管してください。
 なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへお問い合わせ
 ください。



特長・機能の紹介

- 1 お好みの給湯温度でお湯が使えます。
リモコンで設定した温度でお湯が出ます。約37℃～60℃まで設定できます。
- 2 浴そうにおふる場の給湯栓からお湯をはるとき、あらかじめお好みのお湯の量（湯はり量）を設定しておく、そのお湯の量になったとき、リモコンのブザーでお知らせします。（台所リモコン設置時のみ）



目次

- 特に注意していただきたいこと 1~6
- 各部の名まえとはたらき 7~9
- 使用方法
 - ・初めてお使いいただくときは 10
 - ・時計時刻の合わせかた 11
 - ・表示画面のモードを切替える 12
 - ・お湯の出しかた（台所リモコンでの操作） 13~14
 - ・お湯の出しかた（浴室リモコンでの操作） 15
 - ・湯はりコール（お湯はり量をブザーで確認したい） 16~17
- 機器内部の凍結予防方法 18~19
- 点検・お手入れ 20~21
- 故障かな？と思ったら 22~24
- 長期間使用しない場合 25
- 寸法図 26
- 仕様 27
- アフターサービスについて 28
- 保証書 29~30

特に注意していただきたいこと

■機器を安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書では、お客様や近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために説明文及び製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認ください。

| 注意表示 | 意 | 味 |
|------|---|---|
| | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。 | |
| | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。 | |
| | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 | |
| お願い | 安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。 | |

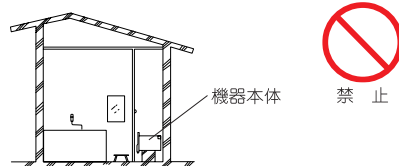
絵表示には次のような意味があります。

| 絵表示 | 意 | 味 | 絵表示 | 意 | 味 | 絵表示 | 意 | 味 |
|-----|----------|---|----------|---|-----------|-----|---|---|
| | 一般的な注意事項 | | 一般的な禁止事項 | | 必ず行なう事項 | | | |
| | 感電注意 | | 分解禁止 | | アース接続確認 | | | |
| | 高温注意 | | 火気厳禁 | | 電源プラグを抜く | | | |
| | 発火注意 | | 接触禁止 | | ぬれた手の接触禁止 | | | |

危険

■機器の設置

- この機器は、屋外用（壁貫通型）ですので絶対に屋内に設置しないでください。不完全燃焼を起こし大変危険です。



危険

■ガス漏れに気づいたとき

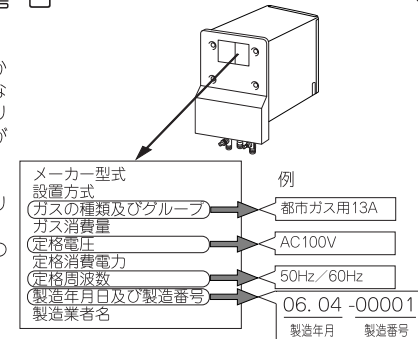
- すぐに使用をやめてガス元栓を閉じる。また、メーターガス栓も閉じ、窓や戸を開けてお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
- お買い求めの販売店や大阪ガスの係員が処置するまでは絶対にマッチやライター等の使用や、電源プラグの抜き差しや、近くの電気機器（換気扇など）の「入」「切」や周辺の電話を使用しないでください。ガス爆発の恐れがあります。



警告

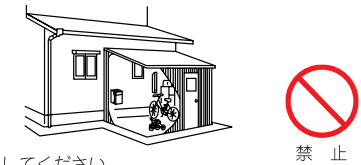
■使用ガスの種類及び使用電源の確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種及び電源を確かめてください。表示のガス種及び電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。
- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、さらにガスグループの区分があります。
- 転居されたときも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。



■設置場所について

- 機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。
- この機器は壁貫通タイプの屋外設置型ですので、増改築などによって、屋内状態にしないでください。また、波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどによって、囲いをするもおやめください。
- 増改築時には燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因となります。
- 塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のための空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮してください。（機器の点検修理のための空間については、販売店または大阪ガスにお問い合わせください。）



■ガス接続

- この機器はねじ接続です。ガス接続工事はお買い求めの販売店または大阪ガスに依頼してください。

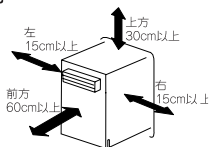
■使用中の外出、就寝禁止

- 火をつけたまま就寝や外出は絶対にしないでください。思わぬ事故の原因になります。

警告

■燃えやすい物とは離す
(樹木、木材、箱など)

- 木造住宅など可燃壁に取付ける場合は、専用の取付スリーブ（メーカー市販品：WF-SLV）を使用し、10mm以上の離隔距離を確保してください。
火災予防のため。



必ず行なう

■火災予防

- 排気口の上や周囲には紙や木材など燃えやすいものを置かないでください。
- 機器や給排気口の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のあるものを置いたり使用しないでください。
引火して火災の恐れがあります。
- 機器の周囲や排気トップにスプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを置かないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発する恐れがあります。



発火注意

■やけどに注意

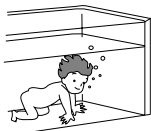
- シャワーなどお湯を使用するときは、最初に熱いお湯が出ることがあります。手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用してください。
やけどのおそれがあります。
- 入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴してください。
お湯はり後は、浴そうの上部と下部で湯温に差がある場合があります。十分にかきまぜてから手で湯温を確認してください。
やけどのおそれがあります。
- シャワー使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。
突然、熱湯が出てやけどをしたり、冷水がでて思わぬ事故につながる場合があります。



高温注意

■子供に対する注意

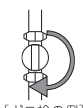
- 浴そうの水に潜ったりしないでください。
思わぬ事故の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 子供を浴室で遊ばせないようにしてください。
浴そうに落ちますと思わぬ事故につながる場合があります。



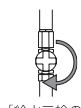
禁止

■異常時の処置

- 点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用中で消火してしまった場合はただちに使用を中止しガス元栓を閉めて22~24ページの「故障かな?と思ったら」の項にしたがって処置をしてください。処置しても直らない場合は、使用を中止しお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに連絡してください。
- 地震、火災などの緊急の場合はただちに使用を中止し、ガス栓及び給水元栓を閉じてください。



[ガス栓の例]

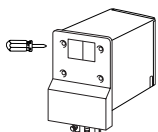


[給水元栓の例]



■分解禁止

- 修理・改造は高度な専門知識が必要です。お客さまご自身では工具を使用して分解したり修理・改造は絶対に行わないでください。
思わぬ事故や故障の原因となります。

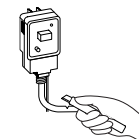


分解禁止

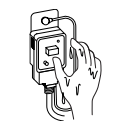
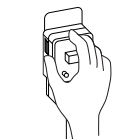
警告

■電気事故の防止

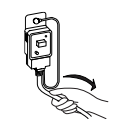
- 電源コードを切断して延長しないでください。
電源コードが届く範囲としてください。感電や火災などの原因となります。
- 電源プラグは根元まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。痛んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わないでください。
- 電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- ぬれた手でコンセントの抜き差しをしないでください。
感電の原因になります。
- 電源コードを引っばって電源プラグを抜かないでください。電源コードを引っばると破損して感電や火災の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



禁止



ぬれた手の接触禁止



禁止



禁止

■機器本体に無理な力を加えない

- 機器本体やガスの接続口、給排気口などに乗らないでください。
けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



禁止

■ソーラー接続禁止

- この機器をソーラーシステムに接続しないでください。ご希望の温度より高いお湯が出てやけどをするおそれがあります。

注意

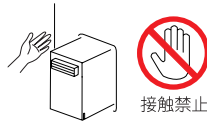
■シャワーセット使用時のご注意

- 高温で使用中は、水栓本体が熱くなりますので注意してください。やけどの恐れがあります。
- 高温で使用了後、またすぐに出湯する場合には熱い湯が出る恐れがありますので注意してください。



■やけどにご注意

- 使用中および使用直後は、機器の排気口や本体は高温になっていますので絶対に手を触れないでください。特に、小さなお子様がいる家庭では、注意してください。



■給気口や排気口に指や棒を入れない

- 給気口や排気口に指や棒を入れないでください。故障やけがの原因となります。

■用途について

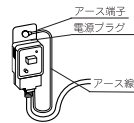
- この機器は、給湯・シャワー・お湯はり以外の用途には使用しないでください。思わぬ故障の原因となります。

■運転停止（消火）時のご注意

- 燃焼中に電源プラグを抜いて消火しないでください。機器の故障の恐れがあります。

■電気事故防止

- アース線をアース端子に取付けてください。感電する恐れがあります。



お願い

■ガス事故防止

- 機器使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

■業務用としての使用禁止

- この機器は一般家庭用です。業務用には使用しないでください。いちじるしく製品の寿命が縮まります。

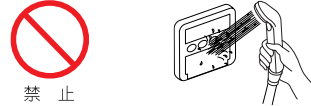
■市販の補助用具使用について

- この機器の付属品・純正部品以外は使わないでください。機器の異常の原因になることがあります。

お願い

■リモコンの掃除

- 浴室リモコンは、防水タイプになっていますが、入浴中や、清掃などで故意に水をかけるとリモコン操作ができなくなることがあります。清掃については20ページの「点検・お手入れ」にしたがっておこなってください。



■リモコンの分解禁止

- リモコンは分解しないでください。



■飲用についてのご注意

- しばらく使わなかったとき、はじめにででくる水は飲んだり調理に用いないでください。

■地下水や井戸水または温泉水で使わない

- 水質によっては、機器を腐食させる原因となります。

■断水時のご注意

- 断水時には運転を停止し、給湯栓を閉じて下さい。給水栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。
- 断水したときは飲用や調理に適さない水が配管内にとどまることがあります。復帰した後、お使いはじめのお湯は飲用や調理用などには用いないでください。
- 断水復帰後は、蛇口から十分水を流してからご使用ください。

■通水使用の禁止

- 運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を流したり、シャワーを浴びたりしないでください。機器内の通水部分に結露現象が発生し、故障の原因となります。

■電気事故防止

- 電源プラグ（漏電ブレーカー付）は、アース端子付のコンセントに確実に差し込んでください。プラグにほこりなどが付着していたり、差し込みがゆるいと感電や火災の原因となります。

■雷が発生しはじめたら

- 雷が発生しはじめたら、使用を中止して電源プラグ（漏電ブレーカー付）をコンセントから抜いてください。機器が故障する恐れがあります。



■積雪時の注意

- 積雪で排気口が塞がれているようなときは、不完全燃焼の原因となりますので使用を控えてください。

■停電のとき

- この機器は、電気で作動しますので停電中は使用できません。
- 停電中は全ての動作を停止します。この場合は、蛇口からのお湯は水になりますので、停電復帰まで給湯栓を閉めてください。
- 停電復帰後も自動的に運転されませんので、10～17ページの「使用方法」にしたがって操作してください。

■機器内部の凍結予防について

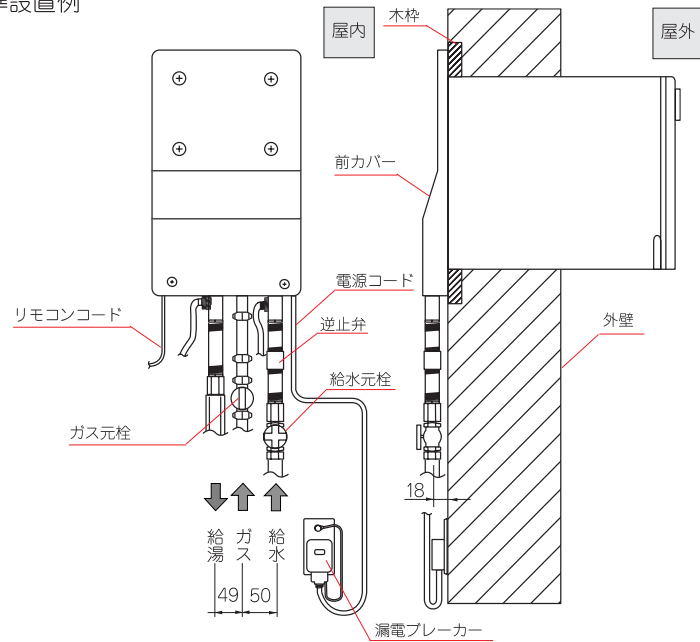
- 機器内部の凍結予防は、18～19ページの「機器内部の凍結予防方法」にしたがって予防処置をしてください。凍結すると、水漏れや故障の原因となります。

■長期間使用しない場合

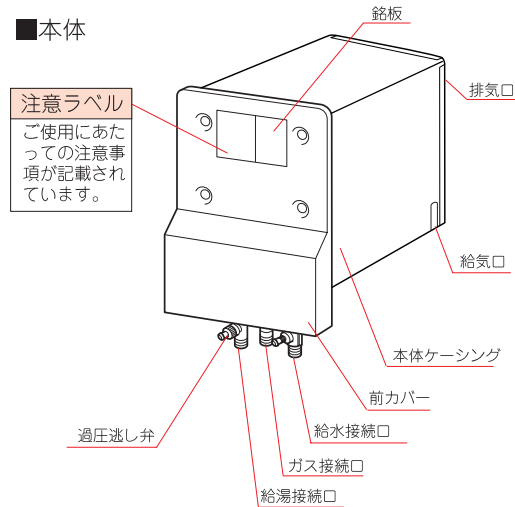
- 長期間使用しない場合は、凍結および万一のガス漏れを防止するため、25ページの「長期間使用しない場合」にしたがって処置をしてください。

各部の名まえとはたらき

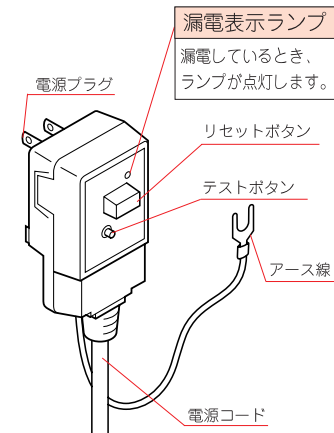
■標準設置例



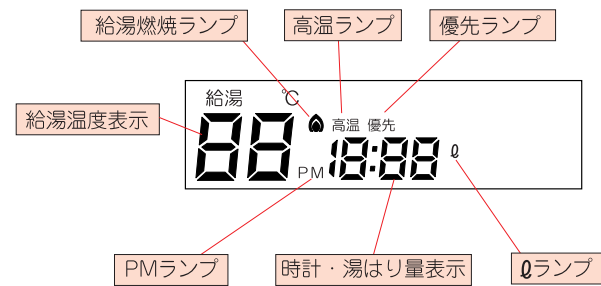
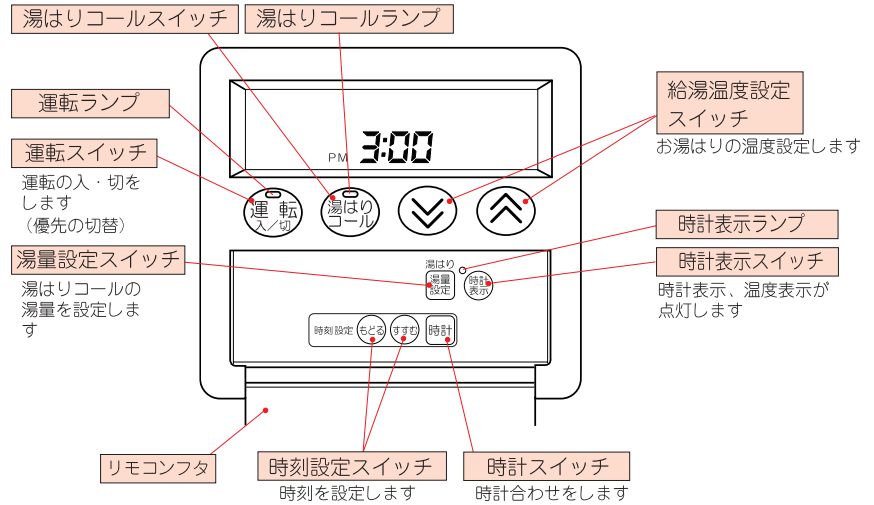
■本体



■漏電ブレーカー



■台所リモコン（別売部品 138-K012）



※左記の表示は説明のため全て表示したもので、実際の運転状態とは異なります。

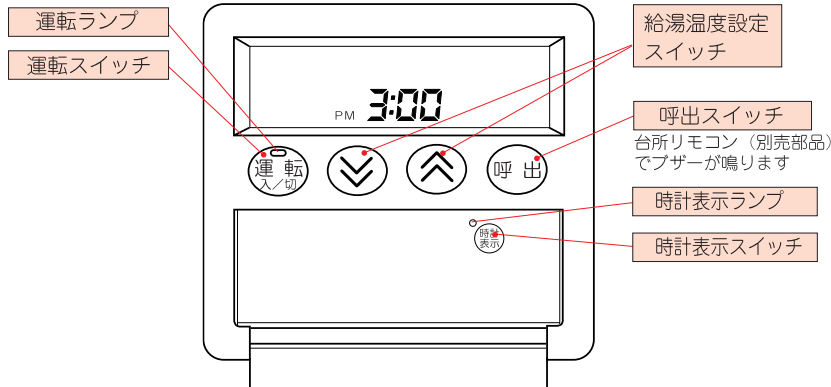


リモコン使用上の注意点

- スイッチを押すと、操作音（ピッ）がしてランプの表示が切り替わりますが、手速いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけられないことがあります。しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切り替わることを確認してください。
- リモコンフタは開けたままにせず、閉じた状態でご使用ください。

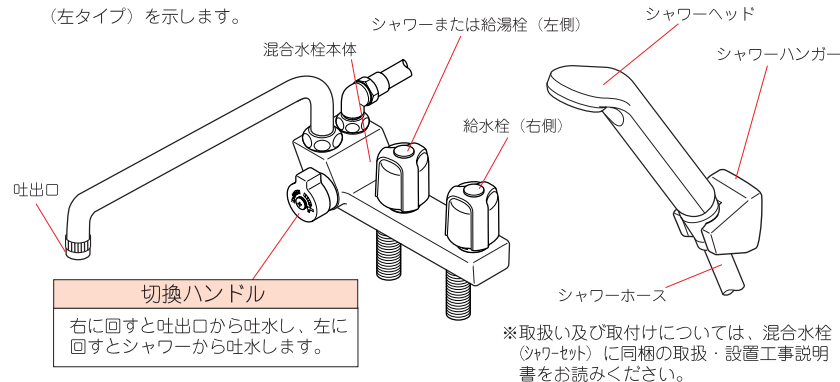
使用方法 初めてお使いいただくときは

■浴室リモコン（別売部品 138-K013）



■混合水栓（別売部品 シャワースト J-157-0401, J-157-0402の場合）

本図は、J-157-0401
（左タイプ）を示します。



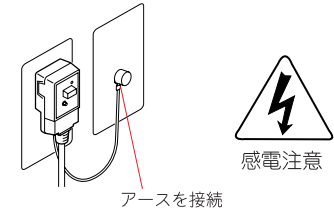
⚠️ 一時止水機能付混合水栓使用時の注意点

- 一時止水機能を持つ混合水栓をお使いの場合は、給湯・シャワーを使い終わった後に切換ハンドル（一時止水）だけで湯水を止めておかないで給湯・給水両栓でしっかり止めておいてください。一時止水がきかなくなる恐れがあります。

使用前の確認

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1. 給水元栓をいっばいに開けます。
2. 給湯栓、シャワー栓を開けて水が出ることを確認してください。
3. ガス元栓を全開にします。
4. 電源プラグ（漏電ブレーカー付）を根元まで確実にコンセントに差し込みます。アース線をアース端子に取付けてください。
5. リモコンの スイッチを押し、「運転ランプ」の点灯と、給湯温度の表示を確認してください。
6. 給湯栓、シャワー栓を開けてお湯がでることを確認してください。



⚠️ が点滅したら

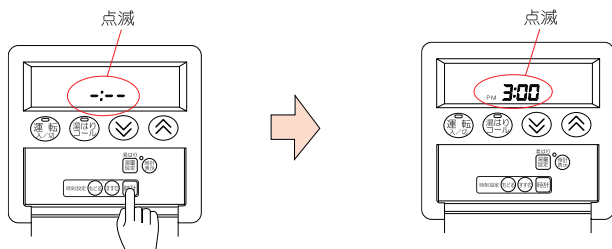
- はじめてご使用になるときなどは、ガス配管中に空気が残っていて点火しないことがあります。この場合、浴室リモコンおよび台所リモコンの「運転ランプ」が点滅し、さらに時計表示部にエラーコード が点滅し給湯不着火をお知らせします。このような場合は、いったん給湯栓又はシャワー栓を閉じ、 スイッチを押してエラーを解除し、再度 スイッチを押し、給湯栓を開ける操作を、2～3回繰り返してください。

使用方法 時計時刻の合わせかた

現在時刻の合わせかた

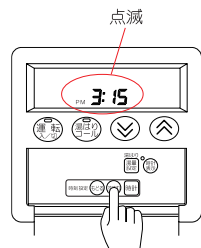
1. **時計** スイッチを押します。

●時計表示が点滅します。初期値は、「PM 3:00」が点滅表示します。
(例、電源投入時、または停電復帰時は、「-: -」点滅表示になっています。)



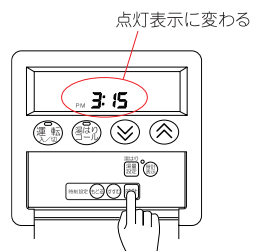
2. 「時刻設定」スイッチを押し、現在時刻を設定します。

●押す度に、1分ずつ変わります。
●押し続けると、10分ずつ早送りできます。
(例、PM 3時15分にセットする場合)



3. もう一度、**時計** スイッチを押します。

●点滅が、点灯表示に変わり、時刻設定が完了します。



時刻設定は、138-K012台所リモコンで

●現在時刻の設定スイッチは、138-K012台所リモコンにあります。138-K013浴室リモコンでは、時刻設定はできません。

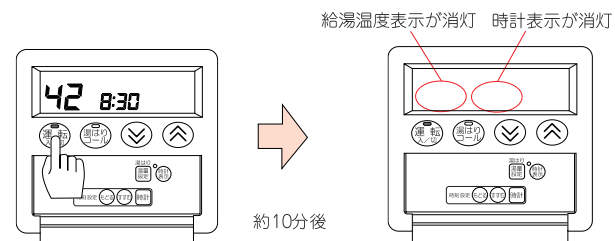
使用方法 表示画面のモードを切替える

表示画面のモードを節電モード／常時点灯モードに切替えをおこないます。
※出荷時は節電モードです。

【例：台所リモコン 138-K012】

節電モード

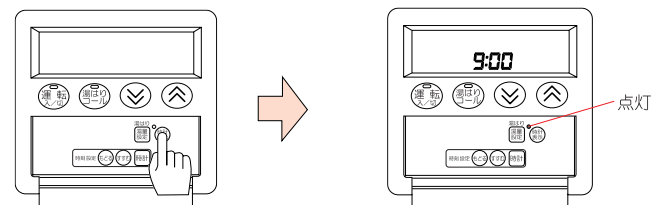
機器を使用しないまま約10分たつと、給湯温度表示と時計表示が消灯します。



常時点灯モード

1. **時計表示** スイッチを押します。

●「時計表示ランプ」が点灯し、時計表示が点灯します。



●「運転」スイッチが入の場合は、給湯温度表示も常時点灯します。

2. 再度 **時計表示** スイッチを押すと常時点灯モードから節電モードに切替わります。このとき「時計表示ランプ」は消灯し、約2秒後に表示も消灯します。



節電モード時の注意点

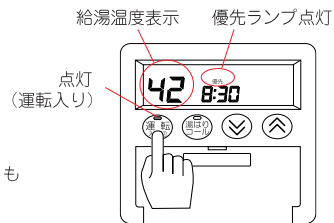
- 次の操作を行った場合は、安全のため一時的に給湯温度表示を復帰し点灯します。
 - ・台所やシャワーなどで給湯をご使用のとき。
 - ・給湯温度設定が変更されたとき。
- 電源** を入にしますと給湯温度表示と時計表示は点灯します。
- 給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため温度表示と高温ランプは消灯しません。
- 別売の浴室リモコンとセットでお使いの場合、リモコン毎にモードを選択できます。

使用方法 お湯の出しかた…台所リモコンでの操作

お湯を使いたい

器具運転開始

1. スイッチを押します。
 - 「運転ランプ」が点灯します。
 - 別売の浴室リモコンもお使いの場合は「優先ランプ」も点灯します。
 - 給湯温度が表示されます。



2. 給湯温度設定スイッチで湯温を調節します。
(一度設定すると記憶します)

- 給湯温度の表示は目安ですが、37～50℃、60℃の15段階に設定できます。(37～50℃間は、1℃きざみ)
- スイッチは1回押すたびに、1段階ずつ調節できますが、 スイッチを押し続けると45℃までは速く動きます。
- ※一度設定すれば記憶します。
(電源投入時または停電復帰後は、42℃設定となっています)



3. シャワー栓または給湯栓を開けます。

- 燃焼を開始し、「給湯燃焼ランプ」 が点灯します。
- しばらくしてお湯が出ます。
(お湯が出るまでの時間は、配管長さによって変わります。)
- ※別売の浴室リモコンとセットでお使いの場合、浴室リモコン側の「給湯燃焼ランプ」 も点灯します。

(例：42℃ → 40℃)

シャワー・給湯停止

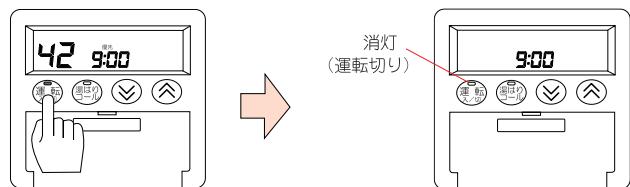
器具運転停止

1. シャワー栓または給湯栓を閉めます。
 - 燃焼が止まり、「給湯燃焼ランプ」 が消灯します。
(再度、シャワー栓または給湯栓を開けるとお湯が出ます)



2. もう一度 スイッチを押します。

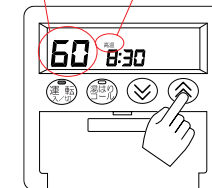
- 台所リモコンの「運転ランプ」「給湯温度表示」「優先ランプ」が消えます。
- 別売の浴室リモコンとセットでお使いの場合、浴室リモコンの スイッチを押しても運転停止できます。



シャワーの湯量が少ないとき (低給水圧)

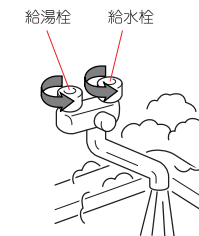
- 給水圧力が低く、給湯栓を全開にしても十分な湯量が得られない場合は、混合水栓で湯と水をミキシングして使用することをおすすめします。この場合、 スイッチで湯温を60℃に設定して使われることをおすすめします。

60℃設定 高温ランプ点灯



- 湯と水をミキシングして使用する場合、湯温調節がしづらい場合があります。この場合、給湯栓は全開で固定し、水の量で湯温を調節すると比較的易しく操作できます。

- 60℃設定にすると、「高温ランプ」が点灯します。



やけどに注意

- やけどに注意
 - 湯温を確認してから使用してください。
- 混合水栓使用時のご注意
 - 高温で使用中は水栓本体が熱くなりますので注意してください。
 - 高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には熱い湯がでる恐れがありますので安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。

浴室リモコンでの操作時
(15ページ)も、同様にご注意ください。

運転を再開する場合

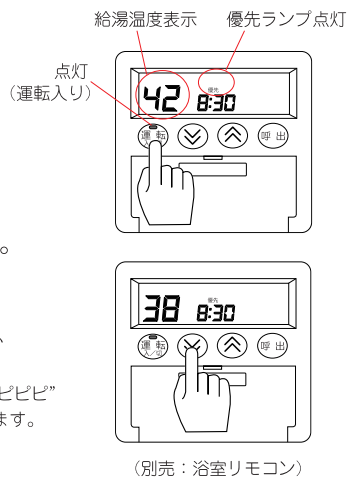
- 運転停止後再び「運転」スイッチを押してシャワー及び給湯を使用する場合、停止前の設定温度が37℃～50℃のときはそのまま同じ温度が表示されますが、停止前の設定温度が60℃であったときは安全のため42℃に戻ります。



使用方法 お湯の出しかた…浴室リモコンでの操作

お湯を使いたい

1. スイッチを押します。
 - 「運転ランプ」、「優先ランプ」が点灯します。
 - 給湯温度が表示されます。
2. 給湯温度設定スイッチで湯温を調節します。
(一度設定すると記憶します。台所リモコンとは別の温度に記憶できます。)
 - 浴室リモコンの スイッチを押せば、温度設定ができます。(例、42℃ → 38℃)
 - ※台所リモコンで60℃に設定すると浴室リモコンで”ピピピ”とブザーで報知し、高温設定されたことをお知らせします。
3. 浴室の給湯栓を開けます。
 - 「給湯燃焼ランプ」 が点灯します。
 - しばらくしてお湯が出ます。
4. 使用後、給湯栓を閉めます。
 - お湯が止まると「給湯燃焼ランプ」 が消灯します。
 - スイッチを押すと、器具の運転が停止します。

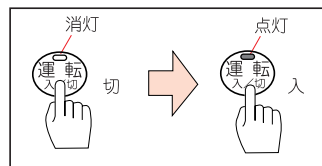


(別売：浴室リモコン)

「優先」ランプが点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。

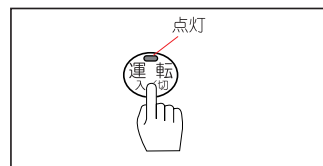
使いたいリモコンを「優先」にする場合は次の操作をして下さい。
(スイッチを入れたほうのリモコンが「優先」となります。)

- 台所リモコンを「優先」にしたい
台所リモコンの をいったん切り、再度入れる。



⚠シャワー等お湯を使用中切替えないでください。
冷水が出たり、高温水が出てやけどの恐れがあります。

- 浴室リモコンを「優先」にしたい
浴室リモコンの を押す



※すでに優先になっている場合は、運転「切」になります。

使用方法 湯はりコール…お湯はり量をブザーで確認したい

※湯はりコールは、台所リモコン（別売部品138-K012）をお使いの場合のみ使用できます。

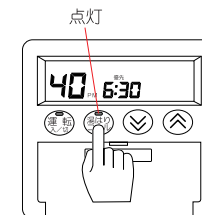
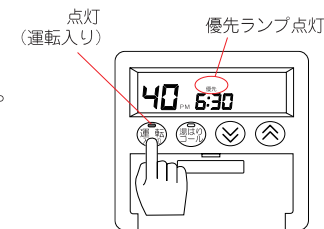
運転前の準備



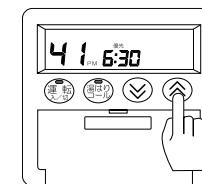
浴槽にお風呂の給湯栓からお湯をはるときあらかじめお好みのお湯の量（湯はり量）を設定しておくとそのお湯の量になったときにリモコンのブザーでお知らせします（自動的にお湯はとまりません）

湯はりコール運転の使用方法

1. スイッチを押し運転入りにします。
 - 「運転ランプ」、「優先ランプ」が点灯します。
2. スイッチを押します。
 - 「湯はりランプ」が点灯します。
 - 浴室リモコンをご使用の場合も給湯温度はお湯はり温度に変わります。



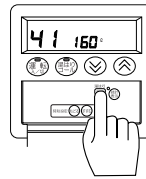
3. 給湯温度設定スイッチで温度を調整します。
(一度設定すると記憶します)
 - 台所リモコンの 、 スイッチを押せば温度設定ができます。
 - 湯はり温度は目安ですが、約37℃から48℃の範囲で1℃ずつ設定します。



機器内部の凍結予防方法

4. 湯量設定 スイッチでお湯はりコール（ブザー）のなる湯量を設定します。

- 希望の湯量を120～240リットルの20リットルきざみで7段階まで選べます。
- 一度設定すれば記憶します。
- （電源投入時または、停電復帰後は、140リットルとなります）



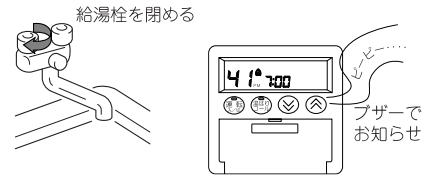
5. お風呂場の給湯栓を開けお湯を浴そうへ落とし込みます。

- 「給湯燃烧ランプ」が点灯します。



6. ブザーが鳴ったらお風呂場の給湯栓を閉めます

- 設定湯量になると台所リモコンからブザーが鳴りお知らせします。
- ブザーが鳴ったらお風呂場の給湯栓を閉めます。
- 給湯栓を閉めお湯がとまると「給湯燃烧ランプ」「湯はりコールランプ」が消灯します。



⚠ 湯はりコール運転ご使用上の注意

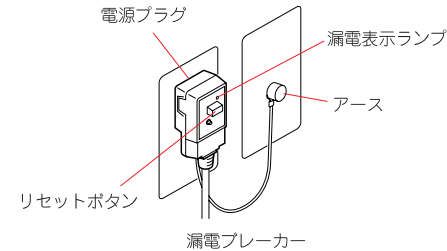
- 電源投入時または停電復帰後の湯はりコール給湯設定は、42℃設定となっています。
- 湯はりコール運転中にお風呂場の給湯栓を閉めると、運転は解除されブザー報知も解除されます。
- 湯はりコール運転使用後の給湯設定温度は、湯はりコール運転時に設定した温度に変わります。給湯を使用する前に、給湯設定温度をお好みの温度に調節してください。
- 湯はりコール運転中にお風呂場以外の給湯栓を開けると、使用した分だけ浴そうへのお湯の量が減ります。
- 設定したお湯はり量は、給湯栓からの給湯量です。湯水混合使用時は混合された水の量だけお湯はり量が増えます。
- やけどに注意
湯はり中や入浴前に必ずお湯の温度を確認してから入浴してください。

凍結予防

冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結がおこることがあります。冷え込みが激しいときは、次のいずれかの方法で予防処置をとってください。

1. 通常の寒さのときの凍結予防ヒーターによる予防方法

- 電源プラグをコンセントに入れた状態にします。抜けていると作動しませんので、注意してください。
- 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していないことを確認してください。点灯している場合は凍結予防ヒーターが作動しません。漏電している可能性もありますのでリセットボタンを押して確認してください。（21ページ参照）



- この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが組込まれています。通常は、電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば機器内の凍結は予防できます。
- 凍結予防ヒーターは、リモコンのスイッチ操作に関係なく働きます。

⚠ 凍結予防に関する注意点

- ヒーターで凍結を予防できる気温の条件は、無風時-15℃まで、有風（4m/秒）時-10℃までです。気温がこれ以下になる時は、通水による方法や水抜き処置によって、凍結予防をしてください。
- ヒーターは、機器内の保温はしますが、配管やバルブ類の凍結予防はできません。配管には保温材を巻いて凍結予防をしてください。
- この機器は外気温が-15℃以下になる場合には凍結予防のために水抜き処置が必要です。（25ページ（長期間使用しない場合）参照）

点検・お手入れ

機器を安全に、快適にお使いいただくために

2. 冷え込みの厳しいときや停電のときの予防方法

■通水による方法

(1) 浴そうの水をぬぎます。

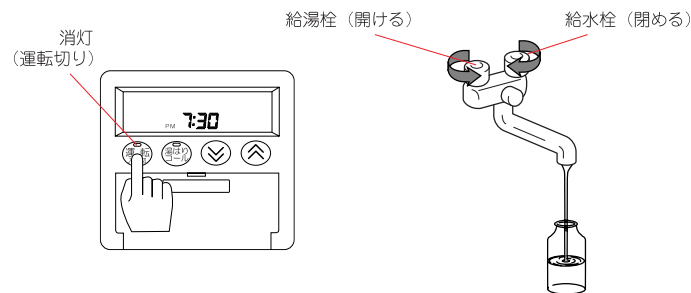


(2) リモコン (運転) スイッチを切りにします。

●「運転ランプ」が消灯します。

(3) ガス元栓を閉めます。

(4) お風呂場の給湯栓を開けて、1分間に400cc (牛乳びん2本分) ぐらいの水を浴そうに流し込みます。(流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。)



これらの処置をしても凍結する恐れがある場合は、水抜きを行なってください。
(25ページ (長期間使用しない場合) 参照)

❗凍結したときは

- 凍結により、給湯栓・シャワー栓から水が出ないときは、使用しないでください。
- 凍結したままで使用しますと、機器に異常が生じ危険です。
- 再度使用する場合は、ガス元栓、給湯・シャワー栓を開め、解凍するのを待ちます。解凍して、通水したあと、本体や配管から水漏れがないことを確かめてからご使用ください。
- 凍結により、機器が破損した場合、高額な修理費用がかかります。(有料)
- 万一、機器や配管から水漏れするなどの異常がある場合は、ガス元栓、給水元栓を開めてから、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスまでご連絡ください。



高温注意

- お手入れの前には、ガス栓・給水元栓を開め、機器が冷えてから行なってください。
機器使用中および使用終了直後は、排気口や本体が高温になっていますので、やけどする恐れがあります。



分解禁止

- 機器やリモコンは、絶対に分解しないでください。
故障の原因になります。

点検のポイント

- 機器の上やまわりに燃えやすいものはありませんか。
- 給気口・排気口が布などでふさがっていませんか。
- 機器や配管から水漏れしているような様子はありませんか。
- ガスのおいはしませんか。
- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか。
- 機器の外観に異常は見られませんか。
- 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。

チェック!



お手入れ時の注意

- 機器外観やリモコンの表面の汚れがひどくておそうじされる時は、布またはスポンジに台所用洗剤 (中性洗剤) をつけてふきとったあと、からぶきします。
- ミガキ粉やタワシなど固いものでこすらないでください。
傷がついて、塗装がはがれたり腐食の原因になります。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。
前カバー、リモコン等は変色、変形、塗装のはがれの恐れがあります。
- リモコンケースには故意に湯水や洗剤をかけないでください。
リモコンの故障の原因になります。
- 浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
湯あかが残っていると、銅イオンと化して青く変色することがあります。



故障かな？と思ったら

次のことをお調べください

■漏電ブレーカーの点検

●漏電ブレーカーが正しく作動することを確認するため、次の操作を行なってください。

- ① テストボタンを押します。 →漏電表示ランプが点灯します。
- ② リセットボタンを押します。 →漏電表示ランプが消灯します。

●月に1回以上の作動確認を行なってください。

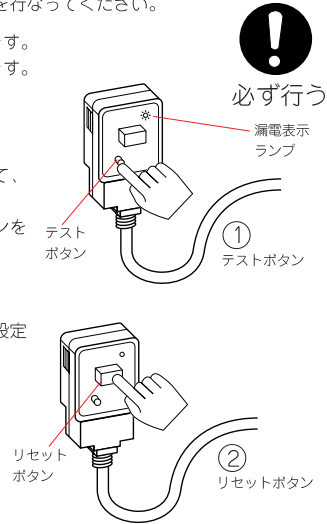
※正しく作動しないときは、機器の使用を止め、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

※点検の前に漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを押してください。

再び漏電表示ランプが点灯するようでしたら電源プラグを抜き、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

※作動確認後は設定していた温度、湯量、現在時刻、湯はりリコール設定温度が初期値になります。

- ・給湯温度 42℃ ・現在時刻 --:--
- ・湯はりリコール設定温度 42℃
- ・湯はりリコール湯量 140リットル




| 現象 | お調べいただきたいこと |
|---------------------------|---|
| リモコンのスイッチを押しても表示ランプが点灯しない | <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントに差し込まれていませんか。(21ページ) ●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。(21ページ) ●停電していませんか。 |
| 給湯栓を開けてもお湯が出ない | <ul style="list-style-type: none"> ●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●断水ではありませんか。 ●リモコンの「運転」スイッチを押しましたか。 ●凍結していませんか。(18,19ページ) |
| あついお湯が出ない | <ul style="list-style-type: none"> ●リモコンの給湯温度設定が低くなっていませんか。 ●ガス元栓が全開になっていますか。 |
| ぬるいお湯が出ない | <ul style="list-style-type: none"> ●リモコンの給湯温度設定が高くなっていませんか。 ●水量を絞りすぎていませんか。(夏) ●給水元栓が全開になっていますか。 |
| 設定した温度、時刻などが記憶されていない | <ul style="list-style-type: none"> ●停電が起きていませんか。 <p>※1秒以上の停電が発生した場合、設定していた温度時刻、湯量が初期値になります。(21ページ)</p> |

エラーコードの表示をお調べください

| 表 示 | 故障と思われる範囲または原因 | 処 置 |
|----------------|-------------------------|---|
| 1 1 1 1 2 1 | 給湯不着火 給湯使用時、途中消火（失火） | ガス元栓の全開を確認し、エラーコードの点滅を解除します。再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは修理依頼してください。 |
| 1 4 0 1 4 0 | 残火安全装置作動 過熱防止装置作動 | 安全装置の作動または故障が考えられます。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。 |
| 9 0 1 | ファンほこりづまり警告 | お湯を使用することはできますが、十分な給湯能力が出ない状態ですので、修理依頼してください。 |



リモコン表示ランプが点滅しているときは

- この機器は機器の故障または異常を検知すると、リモコンの時計表示部にエラーコードを点滅表示します。（上表で確認してください。）
- エラーコードの点滅解除は、 スイッチを押します。
- 機器を再運転しても表中のエラーコードが何度も表示される場合や、表中以外のエラーコード（311, 331, 721, 611, 310, 700など）が表示される場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。
- 使用中でリモコンのランプが点灯しなくなった場合、マイコンの安全装置または漏電ブレーカーの作動が考えられますので、21ページの要領で漏電ブレーカーの作動確認をしてください。

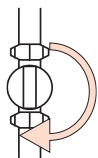
次のような場合は故障ではありません

| こんな場合 | 理 由 |
|----------------------|--|
| 給湯栓を開いてもすぐに湯が出てこない。 | 機器から給湯栓までは距離がありますので湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。 |
| お湯の出を止めてもしばらく音がする。 | 消火後約7分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。 |
| 寒い日に排気口から白い湯気がでる。 | 寒さで排気の中の水蒸気が白く見える現象で異常ではありません。 |
| 高温出湯にすると、お湯が白くなる。 | 水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって現われるためのものです。異常ではありません。 |
| 給湯栓を絞りすぎて水（熱い湯）になった。 | 給湯栓、シャワー栓を絞りすぎる（約2L/分以下）と消火します。また、熱いお湯が出たり、消火したり、を繰り返すことがあります。 |
| ぬるいお湯がでない。 | 夏期水温が30℃近くなりますと、低温にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。 |

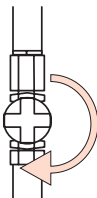
長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

1. ガス元栓 ① を閉じる。



2. 給水元栓 ② を閉じる。



3. すべての給湯栓 ③ を全開にする。

4. 過圧逃し弁兼水抜き栓 ④ をゆるめる。

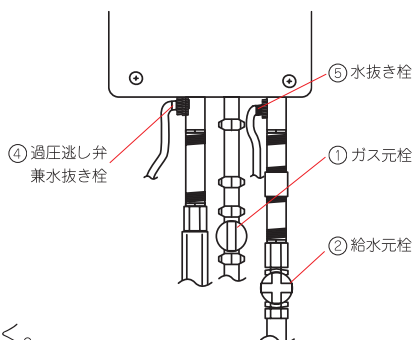
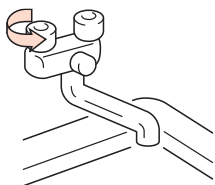
5. 水抜き栓 ⑤ をゆるめて水を抜く。

※水抜きの手順

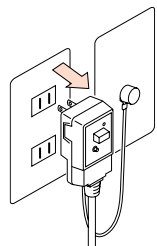
●水抜き栓からでる水は、洗面器などでうけてください。

●配管内の水が抜けたら、水抜き栓、過圧逃し弁兼水抜き栓を元通りにし、すべての給湯栓を閉じておいてください。

③ 給湯栓



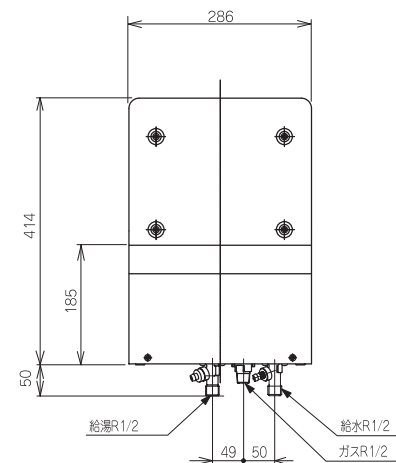
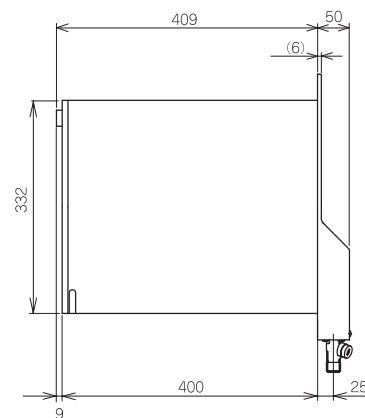
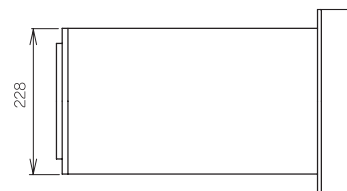
6. 電源プラグをコンセントから抜く。



●再使用については10ページの「初めてお使いいただくときは」にしたがってください。

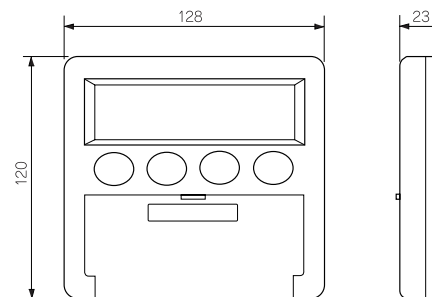
寸法図

■本体



■リモコン (別売部品)

[浴室、台所共通]



仕 様

■ 仕様表

| 項 目 | | 仕 様 | |
|-------------------|--|--------------------------|---------------------|
| 外形寸法 (本体) | | 幅286×高さ464×奥行459mm | |
| 壁貫通部寸法 | | 幅228×高さ332×奥行409mm | |
| 質量 (本体) | | 18kg | |
| 接続寸法 | ガス | R1/2 (TU接続) | |
| | 給水・給湯 | R1/2 | |
| 標準ガス 消費量 kW | ガス質 | 13A | LP |
| | 給湯 | 最大 | 34.9 (30,000kcal/h) |
| | | 最小 | 5.8 (5,000kcal/h) |
| | 最大 | 34.9 (2.50kg/h) | 5.8 (0.42kg/h) |
| 電気定格 | 電源 | AC100V (50 / 60Hz) | |
| | 消費電力 | 使用最大: 60 W | |
| | 凍結予防ヒーター | 48 W | |
| 最低作動水圧 | 19.6 kPa (0.2kgf/cm ²) | | |
| 使用水圧 | 53.9 (動水圧) ~784kPa (0.55~8kgf/cm ²) | | |
| 制御システム | 給湯 | フィードフォワード+フィードバック式ガス比例制御 | |
| | ファン制御 | DCファンによる回転数制御 | |
| 排気温度 | 260℃以下 | | |
| 安全装置 | ・立消え安全装置 ・過熱防止装置 ・ファン回転検知 ・沸騰防止装置 ・漏電ブレーカー ・過圧逃し弁 ・残火安全装置 ・凍結予防ヒーター | | |

■ 出湯能力 *印は換算相当出湯能力を示す。

| ガス種 | 標準号数 (号) | 温度上昇と標準出湯量 (リットル/分) | | | | | |
|-----|-------------|---------------------|--------|--------|--------|--------|-----|
| | | 水温+15℃ | 水温+25℃ | 水温+30℃ | 水温+40℃ | 水温+50℃ | |
| 13A | 能力大 | 16 | *26.7 | 16.0 | 13.3 | 10.0 | 8.0 |
| | 能力小 | 2.5 | 4.1 | 2.5 | — | — | — |
| LP | 能力大 | 16 | *26.7 | 16.0 | 13.3 | 10.0 | 8.0 |
| | 能力小 | 2.7 | 4.5 | 2.7 | — | — | — |

上記数値は計算値です。

アフターサービスについて

■アフターサービスのお申し込み

サービス (点検・修理) を依頼される前に「故障かな?と思ったら」の項を見て、もう一度ご確認ください。それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないで買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

●ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- 品名・・・・・・・・ガス給湯器バックイン
- 大阪ガス商品コード・・・器具の前面上部に貼付してあります
- 故障、異常の現象、エラーコード・・・できるだけ詳しく
- お客様名、住所、電話番号、道順

例)

(N) 133-K419
大阪ガス株式会社

■転居される場合

●ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要になりますので、転居先のガスの種類を確認の上、買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料になります。ただし、ガスの種類や電源の周波数によっては調整できない場合もあります。

■保証・補修について

- 保証期間中の故障修理について
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書 (保証書付) を大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理について
買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品 (機能を維持するために必要な部品) の最低保有期間は、製造打切後10年間です。ただし、当製品製造打切後10年経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

■定期点検のおすすめ

- より安全にお使いいただくために、定期的 (年に一度程度) に点検を受けてお手入れされることをおすすめします。